

2019年5月20日

マルコメ株式会社

東日本電信電話株式会社

クラウド型ロボットプラットフォーム「ロボコネクト」に対応する
オリジナルキャラクターデザインを活用したロボットソリューションの提供
～第一弾としてマルコメ株式会社「マルコメ君」のオリジナルロボットを製作～

マルコメ株式会社（本社：長野県長野市、代表取締役社長：青木時男、以下、マルコメ）と、東日本電信電話株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：井上 福造、以下、NTT 東日本）は、NTT 東日本が提供するクラウド型ロボットプラットフォーム「ロボコネクト」^{※1}に対応したマルコメ株式会社の自社キャラクター「マルコメ君」のオリジナルロボットを製作しました。

また、様々な業界のお客さまからのオリジナルデザインロボット製作要望に応え、NTT 東日本はロボコネクトに対応した「オリジナルキャラクターデザインを活用したロボットソリューション」の提供を開始いたします。

※1 ロボット型の通信端末(コミュニケーションロボット)向けのクラウド型ロボットプラットフォームサービスです。

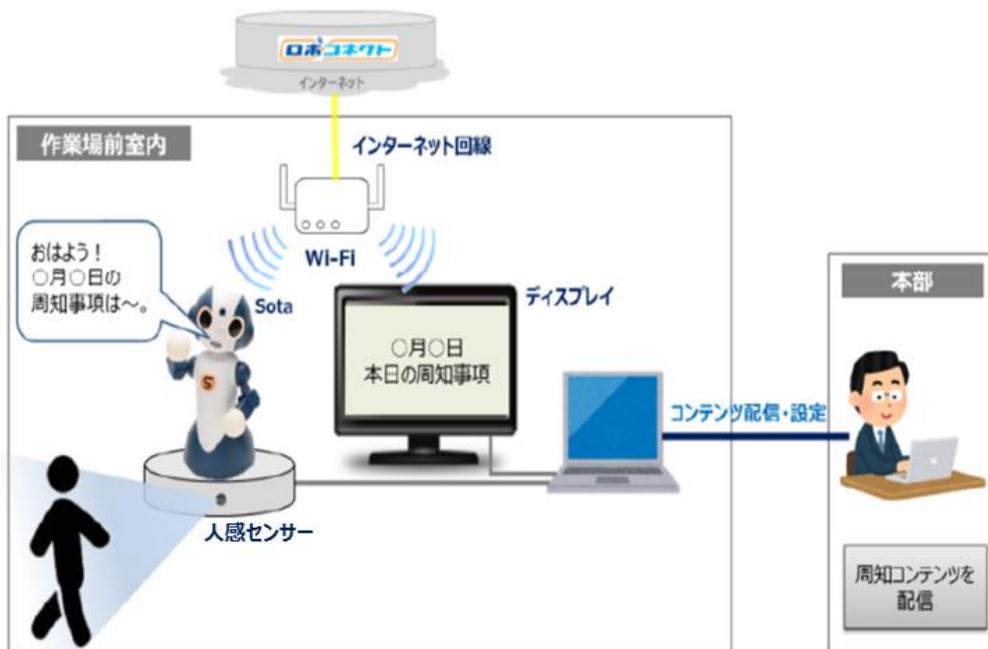
また、「ロボコネクト」にはNTTグループのAI関連技術「corevo® (コレボ)」が活用されています。

* 「corevo® (コレボ)」は、日本電信電話株式会社の商標です。  corevo

1.背景・目的

マルコメは2018年11月に「ロボコネクト」対応のコミュニケーションロボット「Sota® (ソータ)」^{※2} (以下、Sota®) を活用した社内コミュニケーション活性化の実証実験をNTT 東日本と共同で実施しました。本実証実験では、工場で働く従業員への周知内容の浸透、理解度の向上、コミュニケーションの活性化を目的に、遠隔からロボットを通じた情報配信を行い、従業員の約7割以上が以前と比べて情報取得・認知が高まったとのアンケート結果を得ました。

【コミュニケーションロボットを活用した社内コミュニケーション活性化・働き方改革実証実験】



この結果を踏まえ、マルコメではコミュニケーションロボットの有効性を社外の活動にも活かすため、自社キャラクターのデザインを活用したオリジナルロボットの製作の検討を進めておりました。

一方、NTT 東日本はクラウド型ロボットプラットフォーム「ロボコネク」を2016年9月1日より提供を開始し、第一弾の対応ロボットとしてヴイストン株式会社が提供する Sota®に対応してきましたが、様々な業界のお客さまから「自社のオリジナルキャラクターをロボット化したい」という声をいただいております。

こうした背景を踏まえ、ヴイストン株式会社協力のもと、マルコメのオリジナルキャラクター「マルコメ君」のロボット化と、NTT 東日本が提供するロボコネクへの接続を実現するとともに、本ソリューションの提供を開始いたします。

※2 「Sota®」はヴイストン株式会社の登録商標です。

2. 本ソリューションについて

(1) オリジナルデザインロボットの製作について

お客さまのオリジナルキャラクターのデザインを活用して小型ロボットを製作※3します。

本ロボットについては Sota®のシステムをベースとし、オーダーメイドでロボットの外装部分を製作※4します。

※3 NTT 東日本がオリジナルデザインのロボット製作を請け負います。

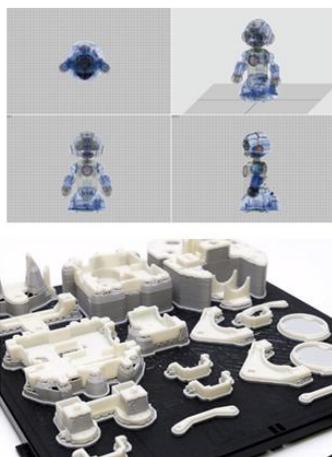
※4 キャラクターのデザインによっては製作が困難な場合があります。

オリジナルキャラクター

設計・パーツ製作

ロボット化

キャラクターデザインをベースに設計、パーツ製作を行います



(2) オリジナルデザインロボットの機能・活用シーンについて

自社で個別開発することなく、「ロボコネクト」および「Sota®」と同等の機能を利用できます。具体的には下記の通りとなります。

<利用可能な機能>

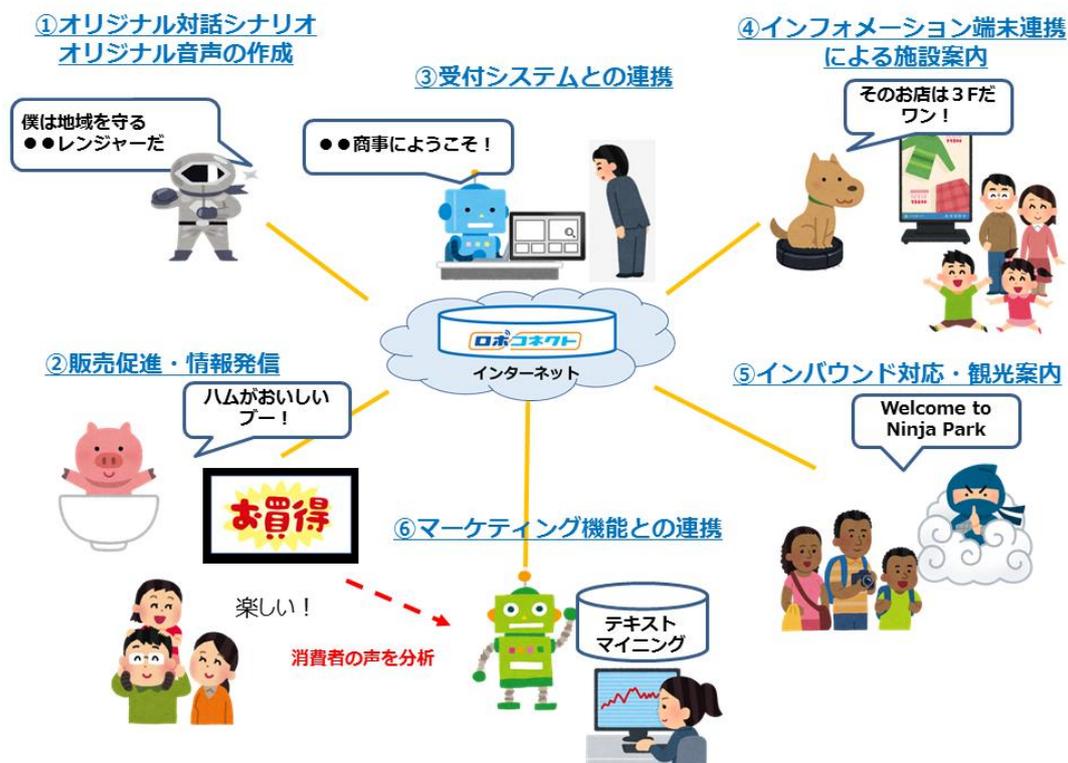
- ・「ロボコネクト」が提供する音声認識・合成技術を基にしたコミュニケーション機能やプレゼンテーション機能
- ・「ロボコネクト Sota 連携 API」^{※5}を活用したロボコネクトパートナー企業各社さまなどが開発したアプリケーション機能
- ・オリジナル対話シナリオおよび音声の多言語（英語、中国語、韓国語）対応機能^{※6}

これらの機能を利用することで、様々な利用シーンでオリジナルロボットを活用することが可能となります。

※5 「Sota®」と連携するためのAPI

※6 ご利用にはweiston株式会社が提供する「多言語追加オプション」のお申し込みが必要です

【オリジナルロボットの活用シーン】



- ① オリジナル対話シナリオ、オリジナル音声の作成
- ② 店頭での販売促進や各種イベントでの活用
- ③ 企業受付での活用
- ④ 各種インフォメーション端末との連携による施設案内
- ⑤ 多言語によるインバウンド対応
- ⑥ マーケティングデータの取得・分析 など

(3) 本ソリューションに関するお問い合わせについて

本ソリューションの提供や費用などについては、お客さまのご要望に合わせて個別にご提案させていただきます。

詳細については下記のお問い合わせ先、もしくは弊社の営業担当者までお問い合わせください。

●メールによるお問い合わせ

sota-ntt-east-gm@east.ntt.co.jp

ビジネス開発本部 第三部門 IoT サービス推進担当

●電話によるお問い合わせ

0120-811-371 (受付時間：午前9時～午後6時 土日休日・年末年始を除く)

●ホームページによるお問い合わせ

<https://business.ntt-east.co.jp/service/roboconnect/>

3.今後の展開

マルコメは、マルコメ君オリジナルロボットを社内コミュニケーションだけでなく、イベントでのプレゼンテーションや工場見学のご案内などでの活用を想定しております。マルコメ君オリジナルロボットがお客様の質問に答えられるようなシナリオを設計したり、案内者とマルコメ君オリジナルロボットが掛け合い形式でプレゼンテーションをしたり、直接語り掛けてくれることを活かしたコンテンツづくりを検討してまいります。

一方、NTT 東日本では、ロボコネクトパートナーと協力しながら、様々な業界における課題解決への貢献をめざすとともに、地域のマスコットキャラクターへの活用など、地域の活性化に向けたコミュニケーションロボットのソリューション展開を進めてまいります。